

# 川上村のコケをさがし てみよう

生育場所の別によく見られるコケをまとめました。

みんなでさがしてみよう！

# 木に生えるコケ



コダマゴケ *Orthotrichum consobrinum*



カラフトキンモウゴケ *Ulota crispa*

## 枝



キヨスミイトゴケ *Neodickladiella flagellifera*



カビゴケ *Leptolejeunea elliptica*

## 葉



チャボヒラゴケ *Neckera humilis*



コハイゴケ *Insomniella plumaeforme* var. *minus*

## 幹



茎の長さ 1 - 5 cm

コムチゴケ *Bazzania tridens*



茎の高さ 2 - 3 cm

ホソバオキナゴケ *Leucobryum juniperoideum*



葉をふくむ茎の幅 2 mm 以上

カガミゴケ *Brotherella henonii*

スギ・ヒノキの  
根元 3 兄弟



茎の長さ 2 - 4 cm (3月に撮影)

ノミハニワゴケ *Haplocladium angustifolium*



長さ 5-10mm の枝を密に出す

イトハイゴケ *Pylaisiadelpha tristoviride*

株

# 土に生えるコケ



フタバネゼニゴケ *Marchantia paleacea* subsp.



ミカヅキゼニゴケ *Lunularia cruciata*



イクビゴケ *Diphyscium fluvifolium*



コバノチョウチンゴケ *Trachycystis microphylla*



エダツヤゴケ *Entodon flavescens*



ハイゴケ *Insomniella plumaeforme*



茎は長さ約 5-10 cm

ヒノキゴケ *Pyrrhobryum dozyanum*

ヒノキゴケは苔庭などによく見られます。最近では瓶などにコケを入れて楽しむコケテラリウムが人気で、園芸業者や愛好者が山にたくさんのコケを取りに来るようになりました。その結果、ヒノキゴケなど人気のコケが各地で減少傾向です。

コケをふくむ小さな世界の生態系についてはほとんどわかっていません。コケが森から減ること、いなくなることは確実に他の生き物に影響します。その先にある私たち人間の生活に影響を及ぼす可能性もゼロではありません。



茎は長さ約 5-10 cm

トヤマシノブゴケ *Thuidium kanedae*



茎は長さ約 5-10 cm

ヒメシノブゴケ *Thuidium cymbifolium*



ジャゴケ

コツボゴケ

### コツボゴケとジャゴケの制空権あらしい

背が低いコケ同士で、日光の取り合いをしています。

すこしでも背が高い方がよく成長できるので、上に行こう行こうとがんばります。

ジャゴケは最近の研究で日本にあるものは遺伝的に異なる 4 種類に分かれることがわかっています。写真のものは水辺に多いオオジャゴケ(仮称)と呼ばれるものです。

# 岩に生えるコケ

コンクリート



ハマキゴケ *Hyophila propagulifera*



チュウゴクネジクチゴケ *Didymodon vinealis*



シナチヂレゴケ *Ptychomitrium gardneri*



ホソバギボウシゴケ *Schistidium strictum*



葉の長さ約 4-7 mm

タマゴケ *Bartramia pomiformis*



茎の長さ約 5-10 cm

オオトラノオゴケ *Thamnobryum subseriatum*

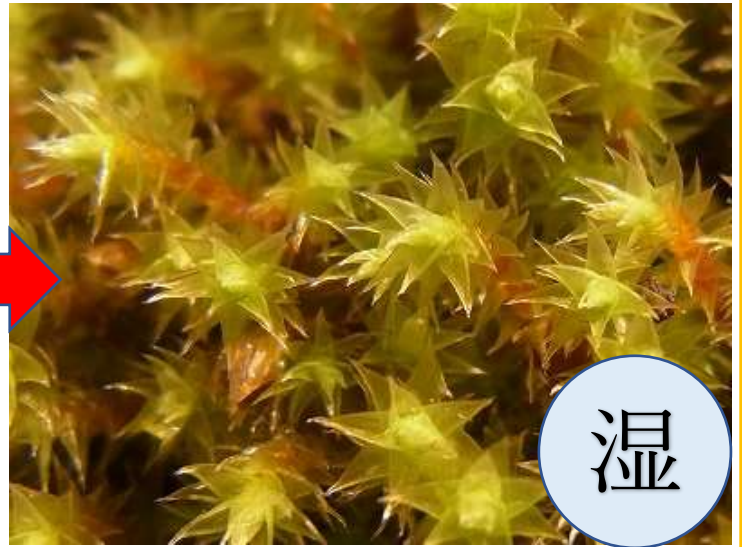
石垣



茎の長さ約 4-8 cm

乾

ヒジキゴケ *Hedwigia ciliata*



湿



茎の長さ約 3 cm で短い枝が多数出る

乾

コバノスナゴケ *Niphotrichum barbuloides*



茎の長さ約 3 cm で乾くとずんぐりする

湿

エゾスナゴケ *Niphotrichum japonicum*



葉のアップ



ハリガネゴケ *Rosulabryum capillare*



ギンゴケ *Bryum argenteum*



フデゴケ *Campylopus umbellatus*



ケギボウシゴケ *Grimmia pilifera*



シマクジャクゴケ *Hypopterygium flavolimbatum*